

(関係部門へご回覧下さい)

成長戦略と構造改革のための管理会計の実務

～ 地域活性化のための経営管理の基礎と事例 ～

いま日本は少子高齢化と古今未曾有のマイナス金利の中にいます。金融機関は経費や投資を抑える縮小均衡から経営合理化へと向かうしかないのでしょうか。一方で、金融機関の使命は、顧客の成長を「積極的に支援して地域そして日本の活性化を図る」ことにあります。

最近では、インターネットやコンビニでの取引の方が店頭よりも一般的になっています。今後は、フィンテックによってますます日々の暮らしに金融サービスが浸透してくるでしょう。また、収益面では金利競争に巻き込まれても利益を確保できるように、金利や手数料の最低価格の把握や、顧客グループでの総合採算制度が求められています。

そのためには、顧客の成長に資する戦略を見極めて投資する「メリハリ経営」と、中長期に総合採算で収益最大化に向かう「顧客/事業ポートフォリオ経営」が必要になります。すなわち、経常的な経費コストを着実に削減しつつも、戦略的な成長投資を増やして、個別ではなく全体の利益を中長期的に向上させていく経営基盤が求められています。

本セミナーでは、金融機関が戦略的・効果的・効率的に成長戦略に資する経営基盤を再構築する管理会計の基礎的な理論や計算方法を分かりやすく解説します。また、事例をもとに管理会計適用のポイントや、運用にあたっての注意点を具体的に解説します。

※ 最近では下記が経営管理上の主要な課題となっていますが、対応は適切で充分でしょうか。

- ★ 顧客との関係構築が収益向上につながる管理会計になっていますか？
- ★ 新規投資やポートフォリオ最適化を支援し意思決定するための経営指標はありますか？
- ★ 健全性と収益性を同時に達成するリスクを勘案した収益管理ができていますか？
- ★ 各部門の担当者にとって、公平で納得感の高い「やりがいのある業績評価」になっていますか？
- ★ 各本部の情報がバラバラではありませんか？データのガバナンスは大丈夫ですか？

開催日：2018年8月2日(木)・3日(金) (2日間)

会場：ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

講師：専修大学

PwCあらた有限責任監査法人

経営学博士 谷守 正行 氏

主催：CMC

Computer Based Management College

<https://www.nikkin.co.jp/cmc.html>

* 上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援：一般社団法人 全国地方銀行協会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 全国信用金庫協会
一般社団法人 全国信用組合中央協会

☆研修の対象

金融機関に勤務しており、経営企画・経営管理・財務企画・収益管理・リスク管理部門に配属されたばかりの方、体系的に収益・原価・リスク・資本の統合管理会計を学びたい方、本部経営情報システム・情報系システム・管理会計システムの企画・開発・運用担当になった方、金融機関の経営管理や管理会計の概要を理解しておきたい経営者、管理者の方、および金融機関を営業対象とする企業の担当社員・SEの方。

☆研修のねらい

金融機関において、IFRS やリスク開示などの来るべき会計基準・規制への対応、中期経営計画策定など戦略策定の際に、近年大きな課題となっている「戦略的な管理会計（収益管理・経費/原価管理・リスクと資本の全般的な管理）」について、基礎的な理論と事例を活用した具体的な適用方法を解説します。金融機関の経営や業務にとって必要な管理会計に関する実務知識を身につけ、今後の経営計画の策定、業務運営、その他企画・開発・運用の業務、及び効果的なシステム導入や効率的な事務改善や営業活動に役立てていただくことをねらいとします。

☆開催要綱

日 程： 2018年8月2日（木）～3日（金） 2.0日間

時 間： 1日目 10:30～17:00
2日目 9:30～16:00

講 師： 谷守 正行 氏

（専修大学准教授・PwC あらた有限責任監査法人財務報告アドバイザー一部ディレクター）

都市銀行総合企画部にてABC（活動基準原価計算）による手数料大改訂と、カンパニー経営のための管理会計を企画・構築・運用し、都市銀行統合後（メガバンク）の顧客セグメント別管理会計試算及び統合協議ののち、大手SIベンダー金融事業本部部長として経営管理（システム）ソリューションの企画と開発を担当。2006年より大手銀行グループにてグループ管理会計/全顧客収益管理/営業部・担当者別業績管理を企画・構築・運用、2012年よりあらた監査法人にて大手金融機関への管理会計アドバイザーを実施。2014年より現職（金融機関を含むサービス業の管理会計研究）。博士（経営学）、日本証券アナリスト協会検定会員。

著書に『金融機関のための管理会計マネジメント』（同文館出版）、『銀行管理会計』（専大出版）、『BSCによる銀行経営革命』（金融財政事情）など。

会 場： ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料：・CMC会員価格 64,800円（本体価格60,000円、消費税4,800円）
（CMC金融機関機械化研究会会員、金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員）
・後援協会会員価格 69,120円（本体価格64,000円、消費税5,120円）
・一般価格 73,440円（本体価格68,000円、消費税5,440円）
（2日間とも昼食はこちらで用意いたします）

定 員： 40名（最少開催人員10名）

成長戦略と構造改革のための管理会計の実務

カリキュラム

1日目 8月2日(木)

10:30~17:00 (10:00受付開始)

2日目 8月3日(金)

9:30~16:00 (9:00受付開始)

<p>1. 金融機関を取り巻く環境と戦略</p> <p>1.1. 取り巻く環境</p> <p>1.2. 将来予想される環境の変化</p> <p>1.3. 取るべき戦略</p> <p>2. 金融機関の管理会計の枠組み</p> <p>2.1. 全体の管理会計の枠組み</p> <p>2.2. 統合リスク管理</p> <p>2.3. リスクアペタイト・フレームワーク(RAF)</p> <p>2.4. 戦略に適合する枠組み</p> <p>3. 金融機関の管理会計の技術</p> <p>3.1. 収益管理の基礎</p> <p>3.1.1. 資金収益管理(本支店レート)</p> <p>3.1.2. 資金収益管理(スプレッド管理)</p> <p>3.1.3. 資金収益管理とALM管理の関係</p> <p>3.1.4. 役務収益管理</p> <p>3.2. 原価計算の基礎</p> <p>3.2.1. 伝統的原価計算</p> <p>3.2.2. ABC(費用消費の活動基準原価計算)</p> <p>3.2.3. Post-ABC (資産活用アプローチの関係性基準)</p> <p>3.3. 信用コストの基礎</p> <p>3.3.1. 信用コストと与信関連費用</p> <p>3.3.2. 割当資本と資本コスト</p> <p>3.4. 内部振替制度の基礎</p> <p>3.4.1. スプリットルール</p> <p>3.4.2. 振替価格制度</p> <p>4. 金融機関の管理会計の基礎</p> <p>4.1. 全社経営管理の管理会計</p> <p>4.1.1. グループ別管理会計</p> <p>4.1.2. 部門別管理会計と地域別管理会計</p> <p>4.2. プロダクトアウトの管理会計</p> <p>4.2.1. 店別管理会計</p> <p>4.2.2. チャネル別管理会計と商品別管理会計</p> <p>4.3. マーケットインの管理会計</p> <p>4.3.1. 顧客別管理会計</p> <p>4.3.2. 顧客セグメント別管理会計</p>	<p>5. 適用事例</p> <p>5.1. A銀行の管理会計の目的と枠組み</p> <p>5.2. B銀行の管理会計の考え方</p> <p>5.3. C銀行の管理会計の活用内容</p> <p>5.4. D銀行の管理会計の構築方針</p> <p>5.5. E銀行の管理会計の運用方法</p> <p>5.6. その他事例紹介</p> <p>6. 事例からみえるインプリケーション</p> <p>6.1. 管理会計適用のさまざまな目的</p> <p>6.2. 事例から見えてくる効果とさらなる課題</p> <p>6.3. 課題解決の方向性と考察</p> <p>6.4. 他行・他業種との比較</p> <p>6.5. アクションへの展開</p> <p>7. 経営情報システムの正しい要件と間違った認識</p> <p>7.1. 管理会計システム要件</p> <p>7.2. 基幹システムとの関係性</p> <p>7.3. システム・パッケージ</p> <p>7.4. 導入のための考え方と誤解</p> <p>7.5. システム導入により失敗するパターン</p> <p>7.6. うまくいくシステム導入のパターン</p> <p>7.7. 経験者による現実的なシステム課題</p> <p>7.8. 管理会計リテラシーの重要性</p> <p>8. データ分析・評価から行動促進へ</p> <p>8.1. 実績管理型管理会計(アナリティクス1.0)</p> <p>8.2. BIツールの価値と検討ポイント</p> <p>8.3. 古くて新しいデータ・モデル</p> <p>8.4. 分析評価型管理会計(アナリティクス2.0)</p> <p>8.5. フィードフォワード型管理会計</p> <p>8.6. 行動促進型管理会計(アナリティクス3.0)</p> <p>(補論1) 財務会計(含む減損)と管理会計の関係</p> <p>(補論2) 業績評価と採算管理(損益分岐点)の関係</p> <p>(補論3) 規制と管理会計の関係</p> <p>(補論4) IRと管理会計の関係</p> <p>(補論5) サブスクリプション型アカウントフィー</p> <p>※2日間とも昼食はこちらで用意いたします。</p>
--	---

37

第45回 金融機関 管理会計セミナー

成長戦略と構造改革のための管理会計の実務

ホームページ用受講申込書（8月2日～3日開講）

貴社名

所在地（〒 - ）

TEL

FAX

Eメール

	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

受講料

A：64,800円（本体価格 60,000円）
（CMC会員価格）

B：69,120円（本体価格 64,000円）
（後援協会会員価格）

C：73,440円（本体価格 68,000円）
（一般価格）

お問い合わせは、
株式会社 CMC

（2日間とも昼食はこちらで用意します）

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042
（名義） 株式会社 CMC

振込予定日（できるだけご記入ください） 月 日

受講についてお願い

- ①受講料は、できるだけセミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁（枝番数字）を付記してください。
振込手数料は貴社でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
- ⑤講演中の録音・撮影ならびに携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。
- ⑥ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。
- ⑦諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。